

COUNTRY RISK WEEKLY BULLETIN

06 January 2009

IN THE HEADLINES



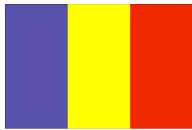
シンガポール

実質 GDP は第 4 四半期に前年同期比 3.5%増加したが(先行予測)、これは 2008 年末に経済活動が崩壊し、基準値が低く抑えられた影響もある。しかし、季節変動調整後年度ベース換算にすると、第 4 四半期の GDP は前四半期比 6.8%縮小しており、これもまた、基準値となる第 2、第 3 四半期が維持困難なほどの急成長(それぞれ 21.6%、14.9%)としたことへの修正と捉えられる。縮小原因の主犯は製造業であり、第 3 四半期に 30%もの伸びを見せた後(需給が不安定なバイオメディカル製品の急増による)、第 4 四半期には前四半期比 38%も縮小したものである。他の主要セクターは延び続けた。2009 年に 2.1%減少した後の、2010 年の GDP 成長率は 4%程度の成長が見込まれるだろう。



ヴェトナム

公式な見通しでは 2009 年の実質 GDP 成長率は 5.2%としており、第 4 四半期における前年同期比での成長(7%近く)を示唆している。2010 年の政府の目標値は 6.5%である。しかし、当局は財政刺激及び拡大的な金融政策による経済の過熱を避けつつ(特に、輸出の伸びが予測水準以下だった場合、同国は顕著な貿易赤字を抱えているため、国際収支勘定にもマイナスの影響が出てくる)、過剰な引き締めを行わないように慎重な政策調整をすることが求められている。経済成長が目標値を上回ってインフレが加速し、為替レートの圧力をやわらげるために急速な引き締めへ傾くリスクがあるだろう。



ルーマニア

12 月中旬に再選挙の結果が憲法裁判所によって認定された後、バセスク大統領は新しい政府を立ち上げるように現職のポック首相に命じた。ポック氏は 10 月に前の連立政権が崩壊した後から暫定政府を率いてきた。ポック氏の新政権は、民主自由党(DLP)、ハンガリー民族系のハンガリー人民民主同盟(UDMR)及び対立政党から脱退したことにより増えた無党派層の支持を受けて 12 月 23 日に承認された。新政権の優先事項は信認に足る 2010 年予算を通すことにより、昨年 10 月から延期となっているIMFからの資金支援を再開させることにある。



イエメン

クリスマスのデトロイトの航空機爆破テロ未遂事件は「アラビア半島のアルカイダ(AQAP)」に脚光をあて、イエメン国に対する懸念を高めることになった。しかし、当該国の問題—無法地帯で、北部にはフーシ反政府武装派分子、南部には再分離独立要求、原油生産量の低下と水資源供給量の縮小—は今に始まったことではない。国際的な支援が中央(サナアを首都とする)政府に差し伸べられるだろうが、イエメンとサウジアラビアの国境は長く穴だらけでもあり、AQAPが当該地域の安定および国際テロ活動にとって大きな脅威であり続けるだろう。

ALSO IMPORTANT---



インド

アンドラプラデシュ州を分割して新しい州、テランガナ州を作る案にはいくつかの懸念があがり、経済的なものよりむしろ政治的なリスクに再着目させる結果となった。第一に、テランガナ州の設立は州議会の全員によって支持されたものではなく、ハイデラバード市(州都でありITのハブでもある)の将来については不透明なままである。第二に、他の民族及び地方も州への昇格を求めるだろう。第三に、その他のグループ、主として中央部のマオイストたちは更に声高に、場合によっては武力に訴えて自らの要求を主張すると見られる。加えて、長年にわたるパキスタンおよび中国との国境紛争がある。2010 年には更に力強い経済となるだろうが、政治的・社会的な圧力は高まるだろう。



クロアチア

主たる反対勢力であった野党社会民主党(SDP)の候補者、イヴァ・ヨシポビッチ氏が 12 月 27 日の大統領選挙の第一選に勝利し(32.4%の得票)、元 SDP 党員で現在はポピュリストとなったミラン・パンディッチ氏(同 14.8%)との決選投票を迎える。与党クロアチア民主同盟(HDZ)の候補者、ヘブラング氏(12%の得票)の予想外に低い得票が同党の先行きへの不透明感を高めている。元首相のサナデル氏は、後任のソコル首相の着任 6 ヶ月後にその地位を脅かしたとして中道右派の HDZ から追放されている。HDZ の内部分裂は、153 議席中 82 議席を、少数派政党に依存しつつ確保している連立政権に対して脅威であり続ける。

COUNTRY REVIEW SUMMARIES



アラブ首長国連邦

2009 年の終わりにドバイワールドが 6 ヶ月の債務支払い停止および債務のリストラを求めているという予想外の発表は同国に対する不透明感を高め、企業活動の透明性の欠如を顕著にした。アブダビの介入により即時のデフォルトを回避出来たとはいえ、今後、金融セクターにおける主要なプレイヤーとなり、同地域の商業・貿易のハブとなろうとしている国の経済運営能力を疑問視させることになった。民間資本の流入にいくらかマイナスの影響が出るだろうが、それでも UAE の GDP は、2009 年において 2.5%程度縮小した後、2010 年においては 3-4%拡大する見込みである。しかし、ドバイ自身は企業セクターの歪みが続いたため、景気低迷が続く可能性がある。



ベリーズ

当該国経済は観光業、エビ・ロブスター養殖、農業および限定的な原油生産に依存しており、台風の影響に対して脆弱である。実質 GDP は 2009 年に縮小した後には拡大するはずだが、2010 年には、インフレ圧力も弱く、控えめな 1.5%程度しか伸びないだろう。財政赤字と公的債務/GDP 比は共に減少しているもののまだ高い水準にあり、経済低迷と共に再度上昇してきている。金融政策は固定相場制(の維持)に軸足を置いて運営されている。経常収支赤字は GDP の 6.5-7%にも上る。外貨準備高は十分であり対外債務比率は改善した。次期選挙は 2013 年を予定しており政府は議会で過半数を占めている。

IN BRIEF

石油価格

ベンチマークのブレント原油は USD80ドル/バレルとなった(2009 年平均は USD62.7ドル/バレル、2008 年平均は USD98.5ドル/バレルであった)。

Edited by Andrew Atkinson

The content of the report (which is subject to change without notice) reflects only our opinion, which is based on information received by us. Accordingly no warranty, representation or other assurance is given as to the accuracy or completeness of the report. The report is for general information and is not intended to address any requirements you may have, for which you must obtain independent advice. The report does not constitute any form of advice, recommendation or arrangement by Euler Hermes UK plc or by the Euler Hermes Group of Companies and must not be relied upon in the making of any decision, agreement or arrangement. © Euler Hermes UK plc 2008.